

令和8年度 箕輪町功労者表彰 受賞者

(年齢順)

向 山 喜 通 氏 (芸術文化振興功労)

小 島 武 志 氏 (保健衛生功労)

根 橋 英 夫 氏 (産業振興功労)

古田の里 赤そばの会 (地域振興功労)

功 績 概 要

○向 山 喜 通 氏（ 芸術文化振興功労 ）

昭和18年10月22日 83歳

平成元年に完成した「みのわ天竜音頭」を翌年から現在まで37年の長きにわたり、踊りの講師として町内各小学校や10社を超える企業において指導し、みのわ天竜音頭の普及と後継者育成に多大な貢献をされた。

また、平成5年には「みのわ舞踊研究会」を自ら発足し、現在まで会長として組織を牽引するとともに、「箕輪町芸術文化協会」においては平成12年から今日まで理事18年、副理事長8年を務め、町の芸術文化活動の推進に中心的な役割を果たされた。

箕輪町民文化祭において毎年日本舞踊を披露し、町民に日本の伝統芸能に親しむ機会を提供するとともに、日本舞踊の振興発展に大きく寄与された。

○小 島 武 志 氏（ 保健衛生功労 ）

昭和30年12月14日 70歳

昭和58年から小島歯科医院の院長として、43年の長きにわたり地域住民の歯科医療の向上に尽力された。

木下北保育園をはじめ町内保育園の園医を務めるとともに、昭和58年から令和7年までの42年間、箕輪中学校の学校歯科医として、園児・生徒の口腔衛生管理に熱心に取り組み、子どもたちの健康増進に大きく貢献された。

また、町歯科医師会会長を務めたほか、国保運営協議会委員など保健福祉分野における多くの委員を歴任された。

さらに、歯科ドック事業の立ち上げに尽力され、地域住民の口腔衛生に対する意識の醸成を図るとともに、歯科保健の向上に多大な貢献をされた。

○根 橋 英 夫 氏（産業振興功労）

昭和31年 5月21日 70歳

平成21年から令和3年までの12年間、町農業委員を4期務め、農地の集積・集約化や後継者のいない農家の農地を認定農業者等へつなぐ取り組みを推進された。

また、信州白樺牧場代表として、堆肥生産販売による資源循環型の多角的農業経営を実践し酪農振興政策の推進と地域酪農の発展に寄与された。

このほか、レストランと新規就農者支援の要素を持つ複合交流施設「信州箕輪もみじ湖夢の里」を運営し、地域農業の振興と産業活性化に大きく貢献された。

平成23年から長野県農業経営者協会理事を務め、令和5年からは会長として県全体の農業者の経営強化及び担い手対策に取り組み、地域産業全体の発展をけん引した。

令和3年11月に一般社団法人長野県農業会議会長表彰を、令和5年3月には日本農業賞優秀賞を受賞された。

○古田の里 赤そばの会（地域振興功労）

平成18年 設立

箕輪町役場産業振興課（現みどりの戦略課）の指導により、中箕輪そば組合から耕作を引継ぎ、「高嶺ルビー」を上古田区金原地籍において平成18年から4.2ヘクタールにわたり栽培している。

約90名の会員が総務・耕作・環境整備・販売の4部体制のもと、「そば処古田の里」の運営や農産物の直売、遊歩道・駐車場等の整備・管理を行うとともに、毎年9月中旬から10月中旬にかけて「赤そばの里祭り」を開催し、期間中3万人を超える来場者を迎えている。

また、箕輪西小学校との協働による教育活動にも取り組み、次世代への地域文化の継承にも貢献されている。

これらの活動を通じて赤そばを全国的に広く知らしめ、当町の観光誘客と地域活性化に多大な功績をもたらしている。